

「新素材による屋上・壁面緑化講演会」を開催しました

平成 18 年 9 月 29 日（金）「新素材による屋上・壁面緑化講演会」（都民ホール）及び同時開催として「実証展示」（都民広場）を開催したので報告します。

講演の様子

講演会は大変盛況で、来場者は 227 名となりました。来場者は関連業界（造園、建築など）および公共団体の担当者が 8 割以上となり、関心の高い方々に聞くことができました。

各公演後の質疑応答は、会場から多くの質問・意見があり、実際の現場で活躍している方々と研究者との有意義な意見交換が行なわれました。

講演会場の様子



講演内容

「東京都農林総合研究センターの都市緑化への取り組み」

渋谷圭助（東京都農林総合研究センター研究員）

「マット植物を利用した屋上緑化・壁面緑化」

柴田忠裕（千葉県農業総合研究センター主席研究員）

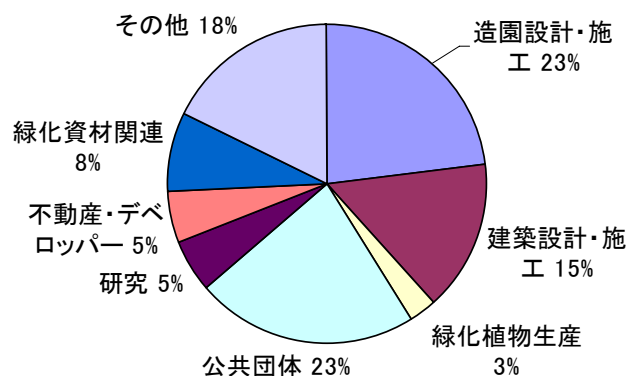
「屋上緑化の最新事例と課題」

三輪隆（竹中工務店主任研究員）

「屋上緑化によるアメニティ効果の評価法」

今西英雄（東京農業大学教授）

講演会来場者層（アンケートより作成）



講演者



渋谷圭助



柴田忠裕



三輪隆



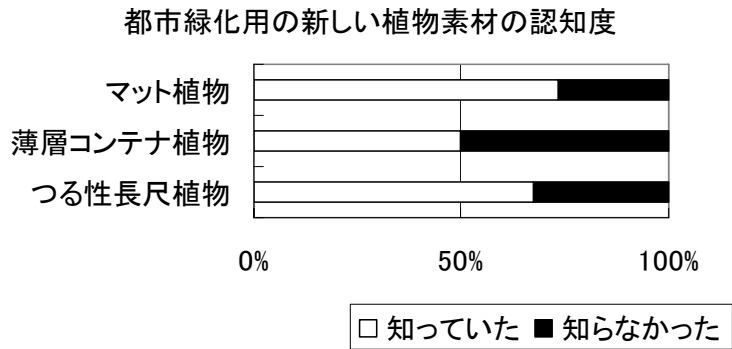
今西英雄

アンケート結果

来場していただいた方々に公演後、簡単なアンケートに答えていただきました。

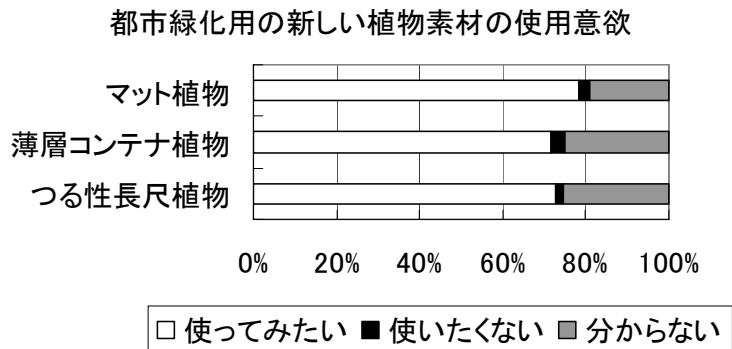
① 新しい緑化素材の認知度

本公演会で紹介した新しい緑化素材は、一定以上の認知度があることがわかりました。特にマット植物の認知度は高い結果となりました。



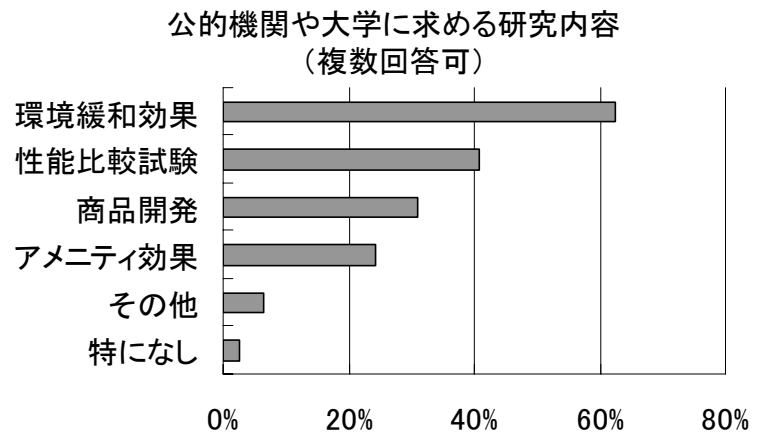
② 新しい緑化素材への意欲

本公演会で紹介した新しい緑化素材を使用したいですか？という問いに対しては、マット植物、薄層コンテナ植物、つる性長尺植物ともに7割以上が「使ってみたい」と回答し、使用に対する高い意欲があることが確認されました。



③ 今後の研究について

公的研究機関や大学に実施してほしい研究内容は、「環境緩和効果に関する研究」を6割以上の方が選択しました。公平な立場による検証が強く求められていることがわかりました。



④ 参加された方々からの御意見(例)

アンケートの御意見をいただく欄には、大変多くの御意見をいただきました。これらの御意見は、今後の研究や講演会などの運営に役立てたいと思います。

- ・ マット植物を壁面緑化に応用した場合の永続性についてもう少し詳しく知りたかったです。土の流出など。
- ・ デザイン性を持った商品としての開発(つる性長尺植物はすでに使っている)をしてほしい。
- ・ 屋上緑化の具体的な施工方法等も教えていただけると宜しいかと思えます
- ・ 今までの緑化手法とマット植物による緑化手法のコスト比較などがあると良かった。
- ・ 風に関するデータがほしいと思う。マット植物、薄層コンテナ、壁面緑化それぞれについて
- ・ みどりの総合的な評価。具体的な数値・効果がわかりにくいため、相手を納得・理解させることが難しい。
- ・ 屋上緑化をやりたい人は多いが、手軽に材料が入らないためあきらめる人が多い。
- ・ アメニティ効果に関する研究は難しそうだが効果はあると思う
- ・ 過去の屋上緑化について①ヒートアイランドに対する効果②水の散布量の比較。の状況を知りたい。
- ・ 今後は市場化方法、経済性の研究に取り組んでほしい

実証展示

同時開催として、講演会会場（都民ホール）の前にある「都民広場」に実証展示園を設置しました。

展示園はマット植物や薄層コンテナ植物、つる性長尺苗といった新しい植物素材約 50 品種 1500 苗によって作られた約 200 m²の仮想屋上緑化です。講演会にいらした方々はもちろん、都庁への来庁者、近隣の会社員など約 1000 名の方々に来場していただきました。





お問い合わせ

本講演会および新しい植物素材についてのお問い合わせは、

講演会および研究についてのお問い合わせ

東京都農林総合研究センター 都市環境科

電話：042-528-0526

メール：nourin-center@tdfaff.com

商品についてのお問い合わせ

つる性長尺植物・薄層コンテナ植物：JA 東京植木

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~JAueki/>

マット植物：いんばマット植物研究会

<http://www.geocities.jp/inbamatto/index.html>

花のマット植物：東京都農林総合研究センター 生産技術科

電話：042-528-0664

メール：nourin-center@tdfaff.com